



2020 齋賀医院院内感染予防対策 (COVID-19)



- ◎ 感冒症状のある方は全て新型コロナウイルス感染の疑いがあるとし、院内感染予防に努める
待合室での濃厚接触を防止するため、咳や熱のある方は受付へ申し出てもらう(案内板を作成)

- ◎ red zone (危険エリア) Green zone (安全エリア)を明確にする

- ◎ 予防接種 接種時間を決めて接種 動線は green zone とし 他の Pt との接触を避ける

- ◎ 感冒症状ありの方
車で来院の方には呼出ベルをお渡しし、駐車場内での待機を促す
(ルーズリーフに名前 呼出ベル No を記録)
呼出ベル回収方法・・・受付に配置した返却箱 Box へ患者様自身に入れてもらう
呼出ベルは汚染防止のためラップで個装する (使用後はラップ交換)
車来院でない方は red zone へ案内 (慢性診察室1, 慢性診察室2, ついたて, 診察室5)
症状軽い方はついたりへ (ついたりには空気清浄機を設置)
症状の強い重症者は診察室5で診察 (Dr Ns は予防衣 ゴーグル キャップ マスク装着)
診5の検査オーダーは口頭指示の為、スタッフは傍で待機

- ◎ X-p 室
換気に注意する
予めカセットはスタンドにセットしておく(カセットはグリットを重ね上からビニールを被せ使用)
操作室への扉は閉めておく
検査着はディスポーザブル使用 使用後は患者様自身に廃棄容器に入れてもらう
(ディスポ検査着は包装袋を外し撮影室 左奥 オーバーテーブル上に数枚用意)
廃棄容器は x-p 撮影室入って左側に設置
撮影室入り口右側に着替え様の籠を準備(使用の度に消毒するため籠内は空にしておく)
操作室 撮影ボタンにビニール袋小を被せておく (撮影後消毒時に交換)
必要物品は操作室へ準備

- ◎ 患者様からの TEL の対応
インフ(-)の時 3日間は TEL にて症状の報告をしてもらう(状況により臨機応変に対応)
Pt-TEL 専用のルーズリーフ(アカサタナ順)にインデックスを付け使用
日付 名前 TEL 番号 症状を記す 来院決定時にカルテへ記入 予約で来院
症状悪化の連絡はX-p撮影の有無確認
撮影済みの場合 胸部 CT 検査必至の為2次医療機関紹介 紹介状を取りに来てもらう

- ◎ 紹介した患者様は連絡が取れるようにしておく
(ID 名前 TEL 番号 休日前には日曜カルテと共にDrへ)

- ◎ 処方基本4日分
3日目の TEL 日に薬が切れるため、熱がなく症状改善傾向の場合、症状あれば薬を処方するので
取りに来てもらう その後も症状続く場合は TEL にて対応

診察の流れ

番号確認の際、念のため 感冒症状の有無を確認

	Dr	Ns	裏書	介助	事務
感冒症状 のある 患者 来院					受付時、患者のカテゴリ分けを行う 発熱 呼吸症状(++) →診察室5へ誘導
					初診の方は保険証確認 その他 pt の保険証確認はしない (臨機応変に対応) 車来院の方 呼出ベルを渡す (名前 呼出ベル No を記録) 車来院でない方は 慢性診察室1,2. ついたて. 重症者は診察室5 へ案内 待機場所の札をカルテに付ける Pt-TEL にて来院の場合 医院到着時に連絡をもらい待機場所へ案内
			車待ちの方 診察順番が近づいたら呼出ベルを押す 呼び出す前に受付へ声掛け行う 受付に誘導依頼 カルテ預ける	診察室5 待ち以外のPt 診察順番が来たら 診①へ誘導	車待ち Pt が来院したら、受付に準備した返却箱に呼出ベルを入れてもらう PT を待機場所へ誘導する 待機場所を示す付箋を付け裏書へカルテを回す グローブ装着でベルのビニール交換
				扉の開閉	

	Dr	Ns	裏書	介助	事務
新型 ウイルス 鑑別の 為検査	インフルエンザ 検査オーダー				
	診察室5で行う	グローブ着用し 診察室5 傍で待機			
	予防衣 ゴーグル グローブ着用		検査キットに記名		
	検体採取 Pt へ待機を促す	検体を受け取り検査			
	予防装備を外し 消毒手洗い			車での来院 の方は携帯 番号確認 車へ誘導	
	手指アルコール 消毒後手洗い	手洗い		手洗い	
		検査結果を入力しカルテを Dr へ			
	処方箋を薬局へ FAX する旨の記載をカルテへ残す	検査結果を伝える 車待ちの方 薬局から 連絡がいく旨を説明 院内待ちの方は会計・ 調剤できるまでその場 でお待ちいただく			レセ→ 薬局へ 処方箋F AX(印 をつける)
	診察室5の消毒				

	Dr	Ns	裏書	介助
肺 雑音 あり	胸 X-p 検査オーダー入力			
	診5でのオーダーは口頭指示 検査後に電カルへ入力			
	X-p室へ誘導 ディスポ検査着への着替えを促し 一端室外へ			
	Nsと共にX-p室へ	下駄箱前の greenzone を 通り X-p 操作室へ		
		患者情報入力		
	撮影の準備	Dr 指示に従う		
	操作室にて撮影			
	X-p室へ戻り着替えを促す 使用済み検査着の廃棄方法を説 明			
	カセットをスタンドから外し操作室 扉を開ける カセットに触れぬ様ビニールを外 しながら Ns にカセットを渡す			
	PtにX-p室での待機を促し室外 へ	カセットを読み込み機へ		
		操作室の扉をドアノブに 触れずに閉める		
		検査終了を報告		
	X-p 画像の確認 正常範囲の時 診①にて説明			Pt を X-p 室から 診1へ誘導 扉の開閉はペー パータオル使用 診①扉の開閉
胸部 CT 紹介	異常陰影の時 X-p室での説明 待機場所の説明を行う			
	紹介状準備		画像の印 刷を事務に 依頼	
			紹介状作 成	
			検査の説 明終了を Ns へ報告 カルテを会 計へ回す	
		診察終了後ディスポグロー ーブ装着で消毒 次回撮影の準備	紹介の為 未収 事務伝える	

当医院における red zone

